

①学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「漢字を確認しよう」(P34)に挑戦しよう。

<取り組み方>

○答えについては、教科書に書き込まず、取組シートやノートに書いてみよう。

○P34に出てきた熟語（二字以上の漢字が組み合わさった語）から二つ選び、選んだ熟語を使って短文を作ってみよう。

- ・選んだ熟語ごとに、短文を作ってみよう。
- ・「誰が（何が）」、「どうした」のかが分かるような短文にしてみよう。

<学習のヒント>

○教科書P32の【新出漢字】（「花曇りの向こう」の新出漢字）も参考にしてみよう。

○分からない場合は、教科書P296～P325の「一年生で学習した漢字」「一年生で学習した音訓」「常用漢字表」を参考にしたり、辞書やインターネット等で調べてみたりしてみよう。どうしても分からない場合は、予想を書いておこう。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【社会】

<内容>

世界の略地図^{えが}を描こう。

<取り組み方>

- (1)教科書 P22 の図 2 をなぞってみましょう。
- (2)なぞった地図を参考に、下の図に世界の略地図を描いてみましょう。

<学習のヒント>

- 全体のバランスを考えて、大陸の形を^{たし}確かめながら書いてみましょう。実際に紙に書いて練習することで、場所や位置関係に対する理解が深まります。

【数学】

<内容>

これまで学習してきたことを使って考えよう。

※今週は、以下の2つのコースから選んで取り組もう！

考える力をつけたい人のコース

教科書 P30 の「トランプゲームで計算しよう」を読み、**1**～**4**について、それぞれ何点になるか考えよう。

～マイナスの数をひくことは、どういうこと？～

計算力をつけたい人のコース

教科書 P34 の「確かめよう」の1、2の計算をし、その計算方法について考えよう。

～正の数、負の数の加法、減法の方法について整理しよう。～

<取り組み方>

考える力をつけたい人のコース

- ① 教科書 P30 の図を見ながら、持ち点が+5点のとき、黒や赤の3をとったりとられたりした後の点数を求めてみよう。
- ② ①の結果から分かることを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

計算力をつけたい人のコース

- ① 教科書 P34 の「確かめよう」の1、2の計算をしよう。
※余裕のある人は、教科書 P35 の「計算力を高めよう1」の1、2の計算もやってみよう。（解答は教科書 P285 にあります。）
- ② 正の数、負の数の加法、減法の方法について整理しよう。

<学習のヒント>

考える力をつけたい人のコース

- ② 教科書 P28 の水色の四角の部分参考に、正の数を引くこと、負の数を引くことは、どんなことと同じかを考えてみよう。

計算力をつけたい人のコース

- ① どのように計算したらいいか困ったときは、これまでの例題をまねして取り組んでみよう。（問題のすぐ左側にどのページの例題を参考にすればよいか書かれています。）
- ② ①でやった計算について、符号や絶対値がどうなっているか考えてみよう。自分のことばでまとめるのが難しい場合は、教科書 P24 や P28 にまとめられていることを参考に「取組シート」やノートに書いてみよう。

【理科】

<内容>

- ◆「^{ゆうきぶつ}有機物」、^{むきぶつ}「無機物」とはどのような物質か考えよう。

<取り組み方>

- ① 教科書 P127 を参考に、それぞれまとめてみましょう。
- ② 身の回りにある有機物と無機物の例をいくつかあげてみましょう。

<学習のヒント>

- ・身の回りの物質については、^{げんりょうひょうじ}原料表示があれば見てみましょう。
- ・有機物か無機物かはつきりわからないものも、メモをしておくといいでしょう。

【英語】

<内容>

- ・教科書 P13 Let's Start④「英語を聞いてみよう・使ってみよう」
- ③「できる？」の絵を見て、取り組みましょう。

<取り組み方>

2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。



★動画を見ながら取り組む課題です。

教科書 P13 の③「できる？」の絵を見て、ALT の先生の質問に答えましょう。

- (例) ALT の先生 : Can you play soccer?
あなた : Yes, I can. / No, I can't.

★動画を見ないで取り組むことができる課題です。

教科書 P13 の「できる？」の絵を見て、「サッカー・テニス・ピアノ・ギター」について、自分ができるかどうか、声に出して言ってみましょう。

- (例) I can play soccer.
I can play the piano, but I can't play the guitar.

※QRコードがうまく読み取れない場合は、札幌市教育委員会ホームページの「臨時休業中の学習課題」のページから動画をご覧ください。